

# 原水協活動 FAX News

発行: 原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

URL <http://www10.plala.or.jp/antiatom/> Eメール [antiatom55@hotmail.com](mailto:antiatom55@hotmail.com) 2007年12月11日 No.20

神戸港  
原水協

## 「6・9行動」41周年—被爆者へのお見舞い募金を訴え

**兵庫**では、神戸市の神戸港で働く労働組合でつくる神戸港原水協が12月6日、開始から41周年の「6・9行動」を行いました。同原水協は、日本原水協の被爆者援護募金の目標を達成しようと1966年12月6日に開始して以来毎月6日と9日(12月は6と9のつく日すべて)の年28回、一度も欠かさず「6・9行動」を続けてきました。被爆者にお見舞金を届ける募金にこだわり、街頭では募金箱しか持ちません。平日は5時半から1時間、土日・祝日は1時から1時間と「定時定点」を貫いてきました。この日の記念行動には13人が参加し、「再び被爆者をつくらぬ決意を固め、被爆者に少しでも励ましのお見舞いを届けよう」と、年末お見舞い募金を訴えました。



通算1148回目となるこの日の行動で、7092円の募金が寄せられました。全国各地の「6・9行動」で集められた募金によるお見舞金は、12月22日に行われる「第38回被爆者援護・連帯もちつき大会」でつくられる約200キロのお餅とともに、被爆者宅一軒一軒に届けられます。

**北海道**では、9日、札幌市中央区パルコ前で北海道原水協と北海道原爆訴訟支援連絡会が6・9宣伝行動を行い、原告弁護団や被爆者など12人が参加。「北海道では9人の被爆者が札幌地裁に提訴しています。来年1月28日に7人の結審となります。裁判所に公正な判決を出させるようご支援下さい」と署名への協力を呼びかけました。「北海道に被爆者がいるの?」と足を止めた青年に、今日も参加しているよと答えると「まじすか」と言いながら署名しました。

北海道原爆訴訟支援連絡会では、1月26日午後6時30分からエル・プラザ3階大ホールで結審に向けて勝利をめざすつどいをひらきます。

### 被爆者援護募金 全労連女性部が春闘討論集会参加者から集める

12月8、9日にひらかれた全労連女性部の春闘討論集会で、被爆者募金が呼びかけられ、寄せられた2万7500円を柴田真佐子副議長が届けてくれました。

### 原爆症認定訴訟 厚労省検討会まとめ案—被爆者のねがいに背く

厚労省の「原爆症認定の在り方に関する検討会」は10日、丹羽太貫座長代理が、「審査は...放射線起因性を基本とする」として各地の判決で批判された現行の「審査の方針」を容認する議論のまとめ案を提示しました。

まとめ案は、被曝線量評価に残留放射線や内部被曝、急性症状を考慮するなど、一定の措置を盛り込んだものの、被曝線量についての機械的な推定値をもとに被爆者の訴えを切り捨てる現行の認定制度を厳しく断罪したこれまでの6つの地裁判決や被爆者のねがいに背くものです。

### 田中熙巳日本被団協事務局長が厳しく批判

検討会後の記者会見で日本被団協の田中熙巳事務局長は、「現行方法を維持した見直しは絶対に許されない」と批判しました。次回の検討会は17日に開かれます。被爆者のねがいを実現させるための世論がいよいよ

大事になっています。緊急100万署名をさらにひろげましょう。

ちひろカレンダー

前年比5%〜10%を必ずやりとげよう

サークルに参加した自民党市議に普及

神戸市高教組の前原昌和さんは、主宰する障害児教育サークルの例会に初参加した自民党の市会議員にちひろカレンダーを普及しています。車椅子に乗った若い女性議員は、次回の例会にも参加してくれるといっています。